

ディーラーの独り言（2018 年 1 月 30 日）

◆本日の予想レンジ

ドル円 108.50～109.50

昨日のドル円は先週大きく進んだドル安の流れを意識しつつ、月末や目先のイベントを控え、様子見の展開となった。108 円台後半で推移する中、東京時間仲値やロンドンフィキシングでは月末フローからドル買いが進んだ。さらに、財務省・金融庁・日銀が約 4 ヶ月ぶりに会合を開き、直近のドル安・円高の流れをけん制したこともドル円をサポートしたようだ。ただ、ニューヨーク時間に 109 円 20 銭まで上値を伸ばしたものの勢いは続かず、結局 109 円を割り込んで終わっており、引き続き上値の重いことには変わらないのだろう。それに加え、今週は 1/30（日本時間 1/31 午前 11 時）、トランプ米大統領の一般教書演説に始まり、1/30-31FOMC、2/2 雇用統計と注目イベントが目白押しとなっており、方向性が掴みづらいことも影響しているようだ。一般教書演説では、昨年末に税制改革を決定したトランプ政権だが、今年 11 月の中間選挙に向けて次の手を打たねばならず、先週のムニューシン財務長官によるドル安容認発言が米国の貿易に有益としたとの見方もあり、通商政策についての発言次第では為替に影響を及ぼす可能性があるだけに注目したい。またイエレン議長体制で最後となるFOMCでは今後の利上げペースに関してFEDの姿勢に注目が集まる。米金利が2014年4月以来の2.7%台へ上昇するなど税制改革による企業収益の上振れ期待が膨らみ、インフレ期待が上昇する兆しを見せる中でパウエル新体制での市場との対話が課題となり、上手くバトンタッチできるか注目したい。さらに週末の雇用統計は、好調な米経済に対して時間給賃金の伸びに注目が集まるだろう。仮に予想を上回るペースの伸びとなれば、今後の利上げペースにも影響も与える可能性も出てくるだろう。昨日は 109 円台前半でポジションをショートに傾けたが、その後の下げが大きくなかったことからポジションは維持したままだ。本日はイベント前ということで、109 円 30-50 銭で売り、108 円 50-60 銭で買いのスタンスで臨みたい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を

保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。